

特別企画：2014年度九州・沖縄地区ホテル・旅館業売上高ランキング

上位 50 社の売上高合計、前年度比 3.4%増

外国人宿泊者が追い風

はじめに

観光庁によると、2015年（2015年1月～12月）の延べ宿泊者数は前年比6.7%増の5億545万人泊と2007年の調査開始以来、初めて5億人泊を超えた。日本人延べ宿泊者数は前年比2.4%増と2年ぶりに増加に転じたほか、外国人延べ宿泊者数が同48.1%増の6637万人泊と大幅に伸びた。

九州・沖縄地区（以下、九州）の外国人延べ宿泊者数も、宮崎県を除く7県が全国平均伸び率を上回った。こうしたインバウンド効果を追い風に、九州のホテル・旅館業界は、上位50社の売上高合計が4年連続で前年度を上回るなど好調に推移している。

この調査は、帝国データバンクの企業情報データベース「COSMOS2」（146万社収録）から、九州に本社を置き、ホテル・旅館経営を主業とする企業（受託運営会社を含む）1122社を抽出。売上高上位50社の2014年度（2014年4月期～2015年3月期）の業績などについてまとめた（売上高は一部推定も含む）。本調査は2015年2月に続いて7回目。

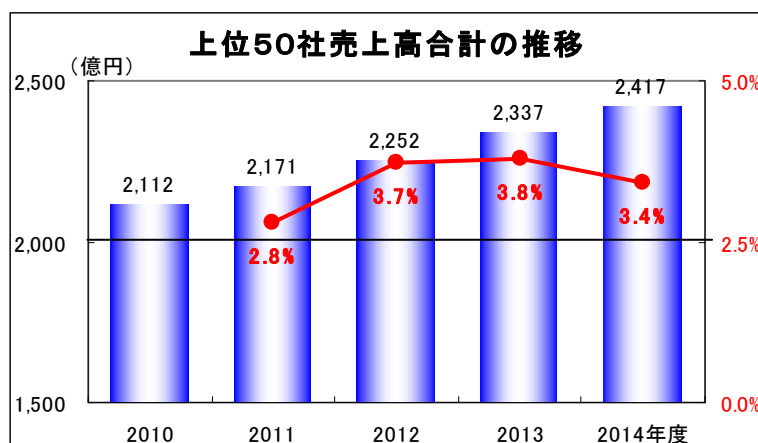
調査結果（要旨）

1. 上位50社の2014年度売上高合計は2417億2000万円（前年度比3.4%増）と4年連続で前年度を上回り、2010年度を底に増収基調が続いている
2. 売上高トップは7年連続でザ・テラスホテルズ（株）（那覇市）。上位3社の順位は変わらず
3. 県別の企業数は、沖縄県が前年度比3社増の18社がランクに入り、7年連続トップとなった。2位は福岡県で13社
4. 県別の売上高合計は、沖縄県が7年連続トップ。前年度より3社増えたこともあって、前年度比10.8%増の831億1200万円となった
5. 売り上げが前年度と比較可能な49社のうち、増収企業は前年度比3社減の30社。一方、減収企業は同1社増の13社、横ばいは6社だった

◆上位50社の売上高合計は前年度比3.4%増、4年連続で前年度を上回る

2014年度の上位50社売上高合計は、前年度比3.4%増の2417億2000万円と、4年連続で前年度を上回った。実質初年度決算となる1社を除く49社のうち、増収企業は前年度比3社減の30社。増収企業が最も多かったのは沖縄県で、18社中12社（構成比66.7%）が増収だった。以下、福岡県9社（同69.2%）、長崎県5社（同100%）、大分県2社（同50.0%）、宮崎県2社（同66.7%）と続いた。一方、減収企業は同1社増の13社、横ばいは同1社増の6社だった。

損益の比較が可能な41社のうち、増益企業は同4社減の16社、黒字転換企業は同1社増の5社。減益企業は同4社増の11社、連続赤字企業は同1社減の4社、赤字転落企業は同3社増の4社、横ばいが同1社減の1社だった。



◆県別売上高合計は沖縄県が7年連続トップ

県別の企業数を見ると、沖縄県が18社（前年度比3社増）で7年連続トップ。2位は福岡県の13社（前年度と同じ）。以下、長崎県が5社（前年度比1社増）、大分県が4社（前年度と同じ）、鹿児島県が4社（前年度比1社減）、宮崎県が3社（前年度と同じ）、熊本県が2社（前年度比2社減）、佐賀県が1社（同1社減）だった。

一方、県別の売上高合計は、沖縄県が831億1200万円（前年度比10.8%増）で7年連続トップだった。2位は福岡県で730億2500万円（同4.1%増）。以下、大分県が264億1400万円（同8.1%増）、長崎県が174億6300万円（同33.3%増）、鹿児島県が173億2500万円（同11.0%減）、宮崎県が151億7100万円（同5.0%減）などと続いた。

県別の企業数・売上高合計

	2013年度		2014年度		売上高伸び率
	企業数	売上高合計 (百万円)	企業数	売上高合計 (百万円)	
福岡県	13	70,153	13	73,025	4.1%
佐賀県	2	3,371	1	1,789	▲46.9%
長崎県	4	13,103	5	17,463	33.3%
熊本県	4	12,273	2	7,421	▲39.5%
大分県	4	24,430	4	26,414	8.1%
宮崎県	3	15,977	3	15,171	▲5.0%
鹿児島県	5	19,471	4	17,325	▲11.0%
沖縄県	15	75,013	18	83,112	10.8%
合計	50	233,791	50	241,720	3.4%

◆売上高トップは7年連続でザ・テラスホテルズ、アメイズが4位に浮上

売上高トップは7年連続でザ・テラスホテルズ（株）（那覇市）。地場トップゼネコンの（株）國場組の関連企業として、リゾートホテル「ザ・ブセナテラス」やシティホテルのほか、ゴルフ場、映画館、飲食店の運営なども手がけている。入域観光客が好調に推移するなか、首都圏やアジア圏の富裕層などを主要顧客層に、2015年3月期の年売上高は前期比2.2%増の228億600万円となった。

2位は、（株）エフ・ジェイホテルズ（福岡市）。地場大手デベロッパー・福岡地所（株）のグループ企業で、「グランドハイアット福岡」などのシティホテルのほか、ビジネスホテル、レジャー施設などを運営している。2012年9月にグループ企業のザ・レジデンシャルスイート・福岡（株）（福岡市）を吸収合併したほか、同年12月にはグレードの高いビジネスホテル「ホテルフォルツァ博多」をオープンした。台湾や香港などからの外国人宿泊者のほか日本人宿泊客も好調で、2014年5月期の年売上高は同8.4%増の125億3100万円を計上した。

3位は、オリックス不動産（株）子会社の（株）杉乃井ホテル（大分県別府市）。アミューズメント施設や大展望露天風呂、屋外型温泉施設、ブライダル施設などを有する大型リゾートホテル「杉乃井ホテル」のほか、温泉旅館も運営している。別府市を代表するリゾートホテルとしての知名度は高く、利用客は九州一円のほか全国に及ぶ。韓国や中国などの外国客の増加もあって高い客室稼働率を誇り、2015年3月期の年売上高は同7.1%増の120億円となった。

上位3社の順位は前年と変わらず。なお、ビジネスホテル「HOTEL AZ」を展開する（株）アメイズ（大分市）は新規出店に加えて客室稼働率も向上し、前回の6位から4位に浮上した。

◆倒産件数は前年度比3件増の11件

倒産（法的整理のみ、負債1000万円以上）動向をみると、2014年度は前年度比3件増の11件と、3年ぶりに前年度を上回った。大型倒産は鳥栖観光開発（株）（佐賀県鳥栖市、会社更生法、負債39億5900万円）の1件で、小規模倒産が主体となった。2015年度（2015年4月～2016年2月の11カ月間累計）は7件にとどまっているが、負債10億円超の大型倒産が3件発生している。

まとめ

九州のホテル・旅館経営者は、2008年9月のリーマン・ショック以降の世界的な景気低迷の影響で経営環境が悪化していたが、2011年3月の九州新幹線の全線開業効果もあって、2010年度を底に回復基調に転じた。観光庁によると、2014年の県別外国人延べ宿泊者数は、福岡県が前年比50.8%増の135万7000人、佐賀県が同63.7%増の9万人、沖縄県が同60.5%増の238万8000人と3県が5割を超えた。2015年に入っても、佐賀県が前年比119.9%増、福岡県が同75.2%増、

大分県が同 70.2%増となるなど、7 県が全国平均伸び率の 48.1%を上回っている。全国平均は下回ったものの宮崎県も同 42.5%増だった。「外国人宿泊客の増加で客室稼働率がアップしている。宿泊単価も上昇し、リーマン・ショック前の水準にまで回復した」と福岡市内にあるシティホテルの担当者。福岡市はコンサートや学会などのイベントも多く、特に週末などには宿泊施設の不足で、佐賀県や大分県にまで足を伸ばす宿泊客が少ないという。こうした状況を背景に、福岡市内ではビジネスホテルを中心に新築や増改築の動きが活発化している。

日本政府は 2014 年 12 月時点で 67 の国・地域に対してビザ免除措置を講じているほか、発給要件の緩和も進めている。さらに円安や LCC（格安航空会社）の新規就航などとの相乗効果により、外国人宿泊者が大幅に増加しているとみられる。九州は温泉や食、伝統文化、景勝地、歴史遺産などの観光資源に恵まれているほか、アジアの玄関口という立地的な優位性もある。その一方で、多言語サービス、クレジットカード決済、Wi-Fi などの環境整備が遅れていることは否めない。ファミリー層や小グループなどの外国人観光客増加が見込まれるなか、観光目的やルートも多様化していくと考えられる。今後は、ホテル・旅館業界にとどまらず観光産業という観点からの受け入れ体制構築・整備が求められる。

2014年度 ホテル・旅館業売上高ランキング上位20社

売上高は推定を含む

順位	前年度 順位	社名	所在地	主要施設	創業	設立	決算 月	売上高 (百万円)	売上高 伸び率
1	1	ザ・テラスホテルズ(株)	那覇市	ザ・ブセナテラス	—	1985年12月	3	22,806	2.2%
2	2	(株)エフ・ジェイホテルズ	福岡市	グランド ハイアット 福岡	—	1978年3月	5	12,531	8.4%
3	3	(株)杉乃井ホテル	大分県 別府市	杉乃井ホテル	1944年	1965年3月	3	12,000	7.1%
4	6	(株)アメイズ	大分市	HOTEL AZ	1911年	1924年11月	11	10,677	14.6%
5	5	(株)ホークスタウン	福岡市	ヒルトン福岡シーホーク	—	1989年7月	12	10,500	4.5%
6	4	フェニックスリゾート(株)	宮崎市	シェラトン・グランデ・オーシャンリ ゾート	—	1988年12月	3	9,311	▲10.5%
7	8	(株)かりゆし	那覇市	沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ	1962年	1972年7月	3	9,038	6.6%
8	7	城山観光(株)	鹿児島市	城山観光ホテル	—	1968年4月	3	8,708	▲3.2%
9	9	(株)エイチビーデイクーパーション	沖縄県 恩納村	ルネッサンスリゾートオキナワ	1988年	1992年12月	11	7,700	4.1%
10	10	沖縄オーラコーポレーション(株)	沖縄県 恩納村	リザンシーパークホテル谷茶ベイ	—	1992年5月	9	6,500	0.0%
11	12	(株)ホテル日航福岡	福岡市	ホテル日航福岡	—	1987年4月	3	6,375	3.2%
12	11	(株)西鉄シティホテル	福岡市	西鉄グランドホテル	—	1999年4月	3	6,150	▲0.8%
13	21	(株)KPG HOTEL&RESORT (※1)	長崎市	長崎温泉 やすらぎ伊王島	—	2003年4月	3	5,913	56.4%
14	14	(株)ニューオータニ九州	福岡市	ホテルニューオータニ博多	—	1976年9月	3	5,719	▲0.4%
15	13	(株)ホテルオークラ福岡	福岡市	ホテルオークラ福岡	—	1996年2月	3	5,700	▲5.7%
16	15	(株)西鉄ホテルズ	福岡市	西鉄イン	—	1999年2月	3	5,500	2.8%
17	16	(株)カヌチャベイリゾート	沖縄県 名護市	カヌチャベイホテル&ヴィラズ	—	1984年9月	6	4,907	4.2%
18	17	小倉ターミナルビル(株)	北九州市	ステーションホテル小倉	—	1995年6月	3	4,600	2.2%
19	18	(株)ロワジュール・ホテルズ沖縄	那覇市	ロワジュールホテル那覇	—	1992年11月	12	4,576	5.3%
20	19	(株)リーガロイヤルホテル小倉	北九州市	リーガロイヤルホテル小倉	—	1992年6月	3	4,100	▲0.8%

※1 2014年11月にグループ企業の(株)KPG LUXURY HOTELSを合併したため、同社の2015年11月～2016年3月までの売上高が含まれている。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク福岡支店 情報部 担当:副島
TEL 092-738-7779 FAX 092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。